

## 地域と学校が連携した防災体制づくり 市独自事業として継続決定！



つくば市議会議員の山本みわです。

まず初めに、このたびの熊本地震で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災後の平成24年度から取り組んでいる「地域との連携による学校の防災力強化推進事業」は、つくば市の小中一貫教育の取り組みと相まって、地域防災力の強化に一定の効果をあげてきました。各小中学校ごとに、自治会・自主防災組織・消防団・民生委員・PTAとの協力体制づくりに取り組み、学校防災連絡会議を設置し、地域と一体の避難訓練や防災教室、防災研修などを行っています。

コミュニティの力が低下している学園地域においては、こうした取り組みに期待するところが大きいのではないのでしょうか。

「地域との連携による学校の防災力推進事業」は県事業でしたが、27年度で終了することになっていました。この事業の重要性と、つくば市としての取り組み効果が大きいことから、継続要望をし続けたところ、28年度以降も市単独事業として事業継続していくことが決定しました。

私自身、県内の公明党の議員の中でも一番最初に防災士の資格を取り、特に防災にいままでは一番関心の低かった子育て世代や高齢者の方々に率先して、備えの大切さを啓発してきました。これまでも多くの質問や、要望をするとともに、皆さんと一緒につくば市の防災・災害対策を実施・推進してまいりました。学校を拠点とした防災活動に、皆さんもぜひご参加ください。

### 議会報告&懇談会「みわCafé」

みなさんと、議会の話やまちづくりなどアットホームにお話する報告会を開催します。  
途中参加、退出自由です。お気軽にお越しください。

平成28年6月1日(水) 松代交流センター2階会議室

①10:30～12:00

②19:20～20:30

議会一般質問で取り上げる内容についてご意見お聞かせください

- 1) 通学路の安全対策について (春日学園・小野川小・二の宮小など)
- 2) 移住・定住促進について
- 3) 公務員宿舎跡地のまちづくりについて
- 4) 子どもの貧困対策について
- 5) つくばでの介護事情・課題について



## 今後10年で想定される普通建設事業 8事業 367億円程度

平成29年～38年度事業見込み

- 可燃ごみ処理施設延命化事業
- 小中学校新設増築事業
- 公園整備事業
- リサイクルセンター整備事業
- 幹線道路整備事業
- 民間保育園整備補助事業
- 学校給食センター建設事業
- 幼少中環境整備事業(トイレ、エアコン等)

事業費

- 88億円程度
- 75億円程度
- 61億円程度
- 60億円程度
- 27億円程度
- 23億円程度
- 21億円程度
- 12億円程度  
(補助金等含む)

※「つくば市中長期財政見通し」より

平成28年度つくば市一般会計予算  
816億円(過去最高額)

昨年度より92億円増(13%増)

ちなみに水戸市1131億円

日立市 768億円

土浦市 574億円

○北部地域に来年開学する秀峰  
学園は総事業費51億円

28年度予算は38億円

○小学校エアコン整備

28年度は3～4年生147教室

整備費4億円

## 「総合運動公園に関する調査特別委員会」 これまでの事業の進め方を検証



正面中央、金子委員長  
右隣 山本みわ副委員長

これまでに全4回の特別委員会が開催され、事業の進め方について以下の4項目で検証。

- ①総合公園の構想・立案に至る経緯
- ②土地取得に関すること
- ③民意の把握について
- ④その他

関係部署担当者、市長に対し、質問調査を終え、今後は各会派ごとに検証意見をまとめていきます。検証はひとまずまとめへ。

このあとは、「今後のスポーツ施設のあり方について」について進め、9月議会で中間報告を行う予定です。

## 筑波山麓での太陽光発電施設建設の問題 全国初の設置禁止区域を設定する条例策定

前号でもご報告しましたが、自然環境面、景観面で大きな影響が懸念される筑波山麓への太陽光発電設備建設。地域住民・団体の反対運動と行政の対応の改善で、その後4カ所のうち、1カ所は取り下げ、2カ所は不許可(県)、1カ所は設置完了となっています。

公明党つくば市議団・茨城県議団では、昨年より市・県への申し入れや、環境省・省エネ庁などとの意見交換を行い、先行してガイドラインを策定した山梨県へ視察・現地調査等も行い、条例整備を進めてまいりました。このたび、つくば市より筑波山及び宝篋山での事業禁止をする条例案が6月議会に提出されます。その他の地域での設置ガイドラインも作られました。

1カ所は止められませんが、将来への大きな布石となったことは間違いありません。



©KOMEITO

平成28年3月議会  
会派代表質問

## 山本みわ 議会質問より



3月議会では、市長からの所信表明として新年度の事業計画や重点施策などの公表があり、所信に対して、会派ごとに「会派代表質問」が行われます。今回、山本みわの質問の概略をまとめました。

### 財政 公共施設・インフラの老朽化 対策、財政に大きく影響



研究学園都市建設により一斉に整備されたつくば。今後予想される公共施設・インフラの老朽化に対する莫大な修繕・補修費について言及していない。もう少し、危機感を持って取り組んでもらいたい。

### つくバス満足度30%



「地域をつなぐ」最重要施策として位置づけられている「公共交通網の整備と拠点化の推進」であるが、つくバスに満足している人の割合は30%程度との調査結果について、もう少し、重く受け止めてもらいたい。

### 子連れ出勤 ワークライフバランスの推進



28年度は市役所職員を対象に親子で出勤し仕事をする「子連れ出勤」をモデル事業として実施。自らやってみせ、課題や成果をまとめていく取り組みに期待したい。

### 防災対策 自助・共助の醸成はもちろん 大事だが、公助のあり方はどう なっている？



東日本大震災・竜巻災害・常総市水害被災者支援と積極的に災害対策に取り組んできたつくば。避難所・ハザードマップの見直し、地域ごとの弱点に対する対策など急務

### 沿線開発地域 地域交流センターの整備



沿線開発地域は新たなまちづくり（コミュニティ）が必要な地域。交流センターの整備は、コミュニティの活性化・市民協働の推進には抱えないものとする。整備検討を強く要望。

### 切れ目のない子育て支援



現状、様々な機関が個々に行っている妊娠期から子育て期にわたる支援だが、先進自治体では切れ目のないワンストップ型の支援が進んでいる。子育てしやすいまちを標榜するつくば市は、もう少し積極的な取り組みが必要ではないか

### 「全国一の芝生産」 既存のポテンシャル活かせ



科学技術やロボットだけじゃない、つくば芝という他市を追随させない生産力を誇っているものがある。茨城県の芝栽培面積の80%がつくば市で生産されており、つくば市の全農地面積のうち約23%を占めています。生産者の高齢化が大きな問題。品質をアップさせ、付加価値をつけて政策的に芝生産を守ることも必要ではないか。

### 子どもの貧困対策



経済的援助を受ける困窮家庭が増加している中、家庭の経済状況は学力に大きく影響するとされている。経済による教育の格差は正のため、県でも「地域未来塾」などの学習支援策が打ち出されているが、つくば市の取り組みが見えない。

### 「研究機関」と「研究者」の流出

昨今の公務員宿舍廃止や、今回は対象から外れた研究機関の移転の検討などはつくば市の人口増減の大きな要因となり得る。つくば市の「人口ビジョン」には、そのような想定がないが、意識すべきと考える。

### 中心市街地・公務員宿舍跡地の 適正な再整備

地方創生の取り組みにおいて、「ひとを呼び、ひとを留める」施策の大前提は「つくばらしさ」  
中心市街地再生推進会議の方針にのっとって進めていくということだが、竹園3丁目の再開発を注視したい。

### ペアレントトレーニング導入

発達障害をはじめとするのお子さんへのかかわり方を学ぶ「ペアレントトレーニング」が28年度より実施される。概要を確認。

### 放課後子ども対策



放課後の子どもの居場所確保のため、学童クラブと放課後子ども教室の拡充が待たなしの課題である。柔軟な取り組みを期待したい。

## 次回定例議会ご案内

6月13日（金）～6月29日（水）までの開催予定です。

**一般質問：6月20・21・22日**

本会議は傍聴やインターネット中継など行っていますので、ぜひご覧ください！  
詳しくは、つくば市議会ホームページ <http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/667/index.html>

## 山本みわの実績

### 子育て

- ★★臨時職員保育士の賃金水準の見直し実現！
- ★★特別支援員の増員
- ★★ペアレントトレーニングの導入
- ◆子育て総合支援センターに発達相談窓口の設置
- ◆放課後子ども教室の推進・実施
- ◆保育所・児童館の耐震診断と耐震改修を提案・実施
- ◆子育てすくすくメール配信事業実施
- ◆小中学校各教室への冷房整備 1番最初に要望・交渉！

### 地域

- ◆市報のポスティングによる全戸配付
- ◆犬のふんイエロカード
- ◆交流センター図書室の中央図書館分館化
- ◆中心市街地の防犯灯等の計画的な整備管理について、調査マップを作成
- ◆メモリアルホールにコインロッカー設置
- ◆公務員宿舍の廃止に関して国との協議会を設置
- ◆研究学園地域に郵便局誘致実現！

### 防災

- ◆地域との連携による学校の防災力強化推進 事業の実施
- ◆災害時の情報伝達手段の整備（うちオ協定）
- ◆防災無線の一部導入 震災時より一貫して主張してきました！
- ◆防災計画に女性の目線を導入

### 市政

- ◆財政の見える化→つくばの台所事情発行
- ◆公共施設マネジメント導入推進

### 健康・高齢者

- ◆女性特有のがん検診・がん対策の推進
- ◆高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成を実現
- ◆妊婦健診公費助成拡充
- ◆子どもの医療費助成、中学3年まで拡充
- ◆救急医療情報キット導入
- ◆こころの体温計（うつ早期発見）導入推進

実現  
しました

## 山本みわプロフィール

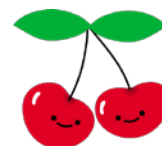
- 1969年12月 東京都練馬区生まれ
- 都立大泉高等学校、創価大学教育学部児童教育学科卒業
- 1992年 4月 学校法人創価大学事務局にて庶務課・広報課・企画課に従事
- 1999年 4月 結婚を機につくば市に居住
- 2008年10月 つくば市議選で 2,602票をいただき初当選
- 2012年10月 3,577票で再選を果たし、現在2期目。

公明党つくば支部副支部長

- ・文教福祉常任委員会 委員長（2013、2014年）
- ・総合運動公園に関する調査特別委員会副委員長
- ・安心安全調査特別委員会 ・議会活性化推進特別委員会
- ・国民健康保険運営協議会副会長 ・男女共同参画審議会委員
- ・子ども子育て会議委員 ・バースセンター評価委員、
- ・予防接種健康被害調査委員会委員

松代小学校父母と教師の会元会長、手代木中学校PTA元会長  
防災士、つくば環境マイスター3級、よみきかせボランティア活動  
「いばらき防災士ネットワーク」「認知症の人と家族の会」  
「若年者社会参加支援普及協会アストリンク」（ひきこもり支援）

【生活信条】 「笑顔と感謝」 【趣味】 森林浴・文具本屋めぐり  
【家族】 夫・一男（中3）・一女（小6）・実母の5人家族



さくらんぼ通信の

“さくらんぼ”は  
『あなたとわたし』  
そして  
『2人の子ども』  
と常に一緒に  
そういう思いを込めています